

## お知らせ

## 「順天堂スポーツ健康科学研究」の歴史と今後の発展を期して

「順天堂スポーツ健康科学研究」編集委員会  
委員長 形本 静夫

我が国の大学では、学内研究者の研究成果発表の場として、「紀要」や「論叢」等を発行しているところが多い。確かに、以前は学術誌の数が少なく、発表の場も限られていたので、それなりの意義があったものと思われる。しかし、現在では学問の細分化が進み、それに従って機関誌として発行される学術誌数も増し、毎月発刊されるものも珍しくない。

このような状況を鑑み、本編集委員会では、これまで学内研究者の研究成果発表の場として年1回発行されてきた「順天堂大学スポーツ健康科学研究」の質的向上を意図して、1) 季刊誌として発行する、2) 投稿者の範囲を拡大する、3) 外部審査制度を導入する、4) 学術誌のイメージを強調するため、雑誌名から大学名を外して「順天堂スポーツ健康科学研究」(以下、本誌)とする、などの改革を行い、平成21年(2009年)に記念すべき第1巻第1号(通巻13号)を発行した。そして、このたび第2巻第1号(通巻17号)が刊行されるに至った。

しかし、振り返ってみると、本誌の「スポーツ健康科学研究」としての歴史は確かに17号であるが、そのルーツは体育学部時代に発刊された「順天堂大学体育学部紀要」まで遡ることができる。歴史を紐解くと、体育学部紀要の記念すべき第1号は、昭和33年(1958年)に発行されている。

その後、同紀要は第11号(昭和43年、1968年)から第38号(平成8年、1996年)までは「順天堂大学保健体育紀要」と「順天堂大学文理学紀要(平成8年は、順天堂大学一般教養紀要)」の2つに分けて発行されてきたが、平成9年(1997年)には学部名を考慮して「順天堂大学スポーツ健康科学研究」に名称変更され、統合も行われた。同時に発行号数もいったんキャンセルされて第1号から開始されることになった。そして、平成21年(2009年)からは、前述のように新たな学術誌としてスタートが切られた。

しかし、名称がどのように変更されようとも、本研究誌の出発点が体育学部時代に編纂された「順天堂大学体育学部紀要」にあることは、疑うべき余地のない事実である。そこで、編集委員会では第2巻第1号から通巻号数にこれまでの歴史を反映させることにした。その結果、このたび発行される「順天堂スポーツ健康科学研究」の第2巻第1号には通巻55号と記されることになった。この変更が、学術誌としての本研究誌のさらなる発展につながることを心から祈念している。

ところで、本誌には、これまでスポーツ健康科学研究科の修士・博士論文の要旨を掲載してきたが、本年度より対応が変更となった。すなわち、学外・国外の科学雑誌(Editor: 審査制ありの刊行物に限る)に既に記載された、或いは掲載許可証明書、accept・in pressなど記された証明書が添付できる論文をもとに作成された博士論文や修士論文については、本誌のSupplementにタイトルと簡略な要旨を(掲載を許可された学術誌・Journalと共に)を記すこ

とにし、上記に基づかない修士論文については、原著論文あるいは報告等として投稿していただき、審査を経て掲載することになった。

これまで、修士論文が科学雑誌に公表されることは極めて少なかった。しかし、修士の学位が授与される以上、その内容をしかるべき科学雑誌に査読を経て公表することは、著者の責務であるといってよい。本誌が、その任の一部を果たすことができればと考えている。なお、公表は本誌に限らず他誌でもよいが、投稿にあたっては、著者は自らの責において、ダブル投稿・掲載とならないよう配慮する必要があることは言うまでもない。

世の科学雑誌の発行は、Quarterly から Bimonthly, そして Monthly と変貌を遂げている。それは、知の創造が加速度的に増大し、速報性がなによりも必要とされていることの証と言える。近い将来、本誌にも同様な変容が求められることになるであろう。多くの人々の協力を得ながら、その成就の橋渡しをすることが本編集委員会の大きな役目である。どうぞ、よろしくお願いいたします。